

⚠ 危険な虫 ⚠

「スズメバチ」

多くのハチは何もしなければ襲ってきませんが、スズメバチは攻撃性が極めて高いので気をつけましょう。胴体の先まで黄色っぽいキイロスズメバチも要注意！



「ブヨ（ブユ）」

3～5mm ほどの大きさの虫です。皮膚を噛み切って吸血するため、腫れやかゆみが数週間続くことも…。早朝や夕方に活動することが多い。



ヒル

知らないうちに服の中や靴の中に入っていることが多いです。ジメジメした森の中などを歩いた後は足元や服にヒルがついていないか確認しましょう。



対処方法

黒い服を避ける

ハチやブヨは、黒を狙って攻撃します。さらに黒は熱を吸収するため、体温が上がり蚊を呼び寄せることも。ブヨは赤や青にも反応するので、熱を吸収しにくい白系の服がオススメ！

足を出さない

足の臭いを好むため、蚊が多いところへ行く場合には暑いのは我慢して、長ズボンで足をガードしたり、虫除けスプレーをかけましょう。

靴の中を確認する

靴を履いたら、中からムカデが！という事も多いので、履く前には十分注意する。

木の真下を避け、草むらに入らない

木の下では毛虫などが落ちてくる場合があります。また、草むらにはマダニがいることもあるので、そういった場所は避け、肌の露出を減らして防御しましょう。

ポイズンリムーバーを使う

刺されたらすぐに、リムーバーで毒を吸い出します。ブヨのように、皮膚を噛み切ってくる虫に刺された場合には、傷口から毒が吸い出せるので効果が高いです。ただ、強く吸いすぎると皮膚が逆にダメージを受けてしまうので気をつけて。リムーバーがなければ、爪で挟んで代用しましょう。



水で洗い流して冷やす

毒を出し後は流水で患部を清潔にします。氷で冷やすのも、かゆみを抑える効果あり。掻きむしりたくなりますが、掻くと腫れも引かず、かゆみも増してしまうので我慢を。

むやみに消毒しない

虫の種類にもよりますが、消毒によってばい菌に対抗してくれる良い菌まで殺してしまう場合があります。毒を出して水で流したら、馬油やワセリンなどをつけて様子を見ましょう。低刺激なので、お子さんにも安心して使えます。

「ムヒアルファ EX」を塗る

蚊はもちろんダニやムカデ、毛虫からクラゲにまで対応でき、キャンパーからの支持率も高い外用薬です。刺されたらできるだけ掻かないようにして、早めに塗ると効果的です。

ハッカ油で「ブヨ除け」をつくろう

虫除けスプレーが効きにくいブヨに効果的なのが、ハッカ油です。ハッカ油とエタノールを混ぜて 100 均のスプレーボトルに入れば、自家製ブヨ除けスプレーのできあがり！



ハチは病院へ

以前にもハチに刺されたことがあったり、複数のハチに刺された場合、アナフィラキシーショック反応が出る場合があります。刺されて 15 分くらいまでに気分が悪くなったり、めまいや嘔吐、呼吸が荒くなった場合は、すぐに病院へ！

⚠ ムカデについて ⚠



ムカデにかまれた時の症状

- ・激しい^{とうつう}疼痛
- ・痺れ
- ・赤く腫れるなどの炎症
- ・痒み

痛みが強く、腫れもあり熱や吐き気など具合が悪くなるようならすぐ病院に行く。**ムカデの毒はハチ毒と成分が似ており、アナフィラキシーショックを起こす可能性がある。**

噛まれたとき絶対にしてはいけないこと

✖ 冷やさない

ムカデの毒に対しては厳禁！冷やすと痛みが増し、痙攣や気絶する事もある。



✖ ぬるいお湯（40℃程度）で温めない

温熱療法で温めると効果があるが、40℃程度のぬるいお湯だと、逆に毒が活性化されて症状が酷くなる（ムカデ毒は43℃以上でないと失活しない）また、噛まれて時間が経っている場合も温めるのは逆効果

✖ 毒を口で吸い出さない（ポイズンリムーバーはOK）

ムカデはハチのように毒を注入するのではなく、頭部にある大顎や肢の先の爪で皮膚に傷をつけ、大腿（おおえら）の根元の毒腺から毒を塗り付ける。毒を口で吸い出すと、口の中に毒を入り、口内の腫れ・悪寒・嘔吐・気道閉塞などの危険性があるので絶対せず、必ずポイズンリムーバーを使用する。

ムカデに噛まれたときの応急処置

✖ すぐにお湯で洗い流す（ムカデに噛まれてすぐの応急措置。時間が経過してからは逆効果）

噛むと同時に毒を放出するため、噛まれたところにいきなり薬を塗らずにまずは毒を洗い流す。**ムカデの毒は熱に弱く、43～46℃の熱で失活するため、ヤケドしない程度の熱いお湯で5分以上洗い流す。**洗面器などにお湯をためて行くと高温を維持できないため必ずシャワーで洗い流し続ける。途中で、弱酸性以外のシャンプーや石鹸で洗い流すとより効果がある。

✖ （必要に応じて）病院へ行く

ムカデに噛まれた場合は「皮膚科」を受診する。ムカデ毒は、ハチ毒と同じで急激にアレルギー症状が出る場合がある。噛まれた箇所の痛み以外に、悪寒・頭痛・吐き気などの症状が出た場合は速やかに病院に行く。特に抵抗力のない小さな子供はショック状態になり、重症になる場合もあるので注意が必要。

● ムカデ対策

✖ 蚊取り線香・・・室内または室外のムカデが侵入経路に使いそうな部分に置く

✖ ハーブ・・・スプレーボトルに水とハーブのエキスを数滴たらし戸や窓の隙間に散布する

✖ 防虫スプレー・・・網戸用の防虫スプレーをムカデが侵入しやすい下側の隙間重心的に散布する

✖ ヒノキスプレー・・・侵入経路になりそうなところに散布する

✖ 樟脳^{しょうのう}（衣服などに使う防虫剤）

⚠ マムシについて ⚠

- マムシの特徴

夜行性といわれているが、昼間でも半日陰の雑木林やじめじめした草むらでは餌を求めて活動したり、木の根や岩陰に潜んでいることがある。

体長は 40~100cm（ほとんど 60cm 以下）。頭は先端がとがっていて三角形に近い形になっている。首が細い割に胴体はかなり太く寸胴で、お尻に近づくと急に体が細くなっているのが特徴。

- マムシの毒（致死率 1%以下）

咬まれるとしばらくして激痛が襲い、内出血が拡大する。出血のため患部は腫れ、ひどい場合には循環障害のため筋肉細胞が壊死を起こしてダメージをより深めていく。手当てが遅れたり、咬まれた部位や注入毒量によっては循環器全体や腎臓にも障害が広がって、重篤な場合は死に至る。出血毒(マムシの毒)は

神経毒(マムシにも少し含まれる毒)に比べて致死量は低い、血管や筋肉の細胞を破壊するために激しく痛み、また筋肉壊死を引き起こすため、一命をとりとめても、手足切断や高度の後遺症が残る。

- マムシに咬まれた場合の対処法「3つの掟」

1. 傷口を切開しない

傷口を切開しても、傷の治癒に時間がかかるだけで、マムシ毒を排除する効果はあまり期待できない。せいぜい紙傷周辺を指で強く圧迫して、血液とともに毒を絞り出すくらいがよい。

2. 強く縛らない

以前は良いとされていたが、縛ってもほとんど効果はなく、逆に出血毒を滞留させることで筋肉壊死を酷くするなどの悪影響が指摘されている。

3. 慌てない

毒素の廻りはそれほど早くないので、まずは落ち着いて行動しましょう。なるべく安静を保つようにして病院に行き治療を受けます。

4. どんな蛇に噛まれたのか特徴等を覚えておく

診断の際に役立つため、無理のない範囲で蛇の特徴を捉えておく。



⚠ マダニについて ⚠

1. マダニの生息場所



マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。

4. 忌避剤の効果

マダニに対する忌避剤（虫よけ剤）が、2013年から新たに認可されました。現在は、ディート、イカリジンの2種類の有効成分の忌避剤が市販されています。

忌避剤の使用でマダニの付着数は減少しますが、マダニの付着を完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。



5. 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	効力持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10 %	防除用医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある
	12 %	防除用医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30 %	防除用医薬品	約6時間	12歳未満は使用禁止	
イカリジン	5 %	防除用医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15 %	防除用医薬品	6～8時間		

2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、
ハイネックのシャツを
着用しましょう。



半ズボンやサンダル履き
は不適當です！

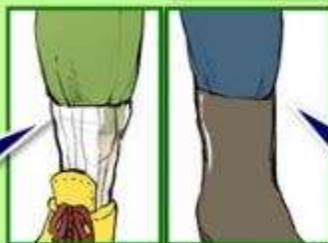
ハイキングなどで山林に入る
場合は、**ズボンの裾**に靴下
を被せましょう。



シャツの袖口は
軍手や手袋の中に
入れましょう。



シャツの裾はズボン
の中に入れましょう。



農作業や草刈などでは
ズボンの裾は長靴
の中に入れましょう。

3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、
家の中に持ち込まない
ようにしましょう。



屋外活動後は、
シャワーや入浴で、
ダニが付いていないか
チェックしましょう。



ガムテープ
を使って服に
付いたダニを
取り除く方法
も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

参考資料 2) マダニ媒介SFTSとは

重症熱性血小板減少症候群 (Severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)

これまでに、中国・日本・韓国でSFTSの患者が報告されています。中国ではフタトゲチマダニとオウシマダニからウイルスが見つかっています。



ウイルスの潜伏期間
は（マダニに咬まれ
てから）6日～2週間
とされています。

2016年は、西日本を中心とした21府県から届出されています。()内は発症数



SFTS患者報告基本情報

合計		232名
性別	男	111
	女	121
年齢	中央値	73歳
	～20代	2
	30代	4
	40代	4
	50代	15
	60代	66
	70代	65
	80代	70
	90代	36

(2017年4月26日 現在)

2013年1月1日以降に報告
された患者（合計232名）です。

SFTS患者は5～8月に多く発症しています。



患者癸症月

資料は、国立感染症研究所ホームページ：
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/sfts.html>を引用

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

感染経路：SFTS ウイルスを保有するマダニに咬まれる。患者体液(血液等)との接触。

潜伏期：6~14 日

症状：発熱・吐き気・嘔吐・腹痛・下痢・下血・筋肉痛・神経症状・出血症状等。致死率 10~30%

治療法：対症療法のみで有効な薬剤やワクチンなどはない。

※マダニに噛まれると致死率 10～30%で死ぬ訳ではなく、噛まれたマダニが SFTS ウイルスを保有しており、かつ噛まれた際に感染した場合なので、過度に心配しないこと。

マダニが媒介する感染症

()内は病原体の種類

日本紅斑熱 (リケッチア)

Q熱 (リケッチア)

ライム病 (スピロヘータ)

ボレリア症 (細菌)

野兔病 (細菌)

重症熱性血小板減少症候群 SFTS

(フレボウイルス)

ダニ媒介性脳炎 (フラビウイルス)

キヤサヌル森林病 (フラビウイルス)

クリミア・コンゴ出血熱

(ナイロウイルス)

・ ・ ・ ・ ・ など

- マダニに咬まれないように注意しよう

マダニの活動は春から秋が盛んなので、咬まれる危険性が高まる。草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン(ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる)、サンダルは避けて靴を履く、帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど、肌の露出を少なくすることが大切。服はマダニを目視で確認しやすい明るい色がオススメ。屋外活動後はマダニに咬まれていないか確認する（特に、ワキの下、足の付け根、手首、ひざの裏、胸の下、髪の毛の中など）

- マダニに刺された時の対処法とは？

マダニに咬まれるとチクリとした痛みと痒みがある。そして、赤く内出血のようになる。マダニは人や動物にとりつくと、皮膚にしっかりと口を突き刺し、長時間(数日～10日以上)吸血する。吸血中の場合、皮膚にマダニの口先が食い込んでいるため、無理に引っ張るとマダニの口先が皮膚に残り、手術(皮膚の切開)が必要となったり、感染症リスクが上がるため咬まれたら自分で取らずに皮膚科を受診する。

- マダニの取り方とは？

マダニに咬まれたら皮膚科を受診するのが一番！

どうしても取りたい場合は、決して力任せに引っ張ってはいけない。後で炎症や感染症を引き起こさないよう、マダニの口先などが一切残らないようにとることが重要。いずれの方法でも、マダニが自分からかみつきを止めて外れることが重要。無理に引っ張ったり、噛みついたままマダニが死ぬことだけは避ける。うまくマダニが外れても、傷口や感染症のチェックをするために皮膚科を受診すると安心。

- ✚ 殺虫剤(キンチョールなど)を使用する

殺虫剤(キンチョールなど)スプレーを綿棒に吹きかけ、マダニに塗ると殺虫効果で外れる。

- ✚ ワセリンで窒息させる

かみついている部分にワセリンを塗るとダニが苦しくなり外れる。

- ✚ アルコールや虫よけスプレー

イソジンや虫よけスプレーをコットンパフなどにしみこませ、ダニに咬ませ、少しおいて外した後、綿棒で刺激し、マダニが自分から外れてくれれば OK!



吸血前のマダニ
(約3mm)



吸血後のマダニ
(約10mm)



～～～以下、編集中～～～

毒のまわりを遅らせるのが大切！刺された時の応急処置

まずは、さらなる被害を抑えるために、刺された現場から離れます。巣が近くにあるかもしれませんし、ハチの毒は仲間を呼ぶ効果もあります。

重い全身症状が見られる場合は、命に関わりますので、一刻も早く病院に行きましょう。

病院に着くまでの間には、以下の対処をしておきます。

仰向けに身体を横たえる。足を高く、頭を低くする。

※吐き気がある場合は、横向きに寝かせる。

手や足を刺された場合、刺された部位より心臓に近い場所を縛る。

※ただし、毒が溜まると壊死するので、数分ごとに縛りを緩めます。

※可能であれば冷やして、血液が毒を吸収するのを遅らせます。

※ミツバチの場合は針が残っているので、抜き取ります。ただし、毒液の入った袋（毒嚢）を圧迫しないように、針の部分を持ってそっと引き抜きます。ピンセットや毛抜きが最適です。

刺された患部を、水で洗い流す。

傷口の周りをつまんで、血と一緒に毒を絞り出します。毒が入るので、絶対に口で吸わないでください。

ポイズンリムーバー

ハチに刺された場合など、毒を取り除く器具がポイズンリムーバーです。市販されていますので、心配な方は持っておくと安心です。刺された後なるべく早く、15分以内に吸引します。ただし、あくまでも応急処置なので、その後は病院に行きしょう。



アシナガバチとスズメバチの見分け方

アシナガバチとスズメバチは、顔方と胴色がクビレでいて、総腹で、似ています。見分けのポイントはここにあります。「このハチはどっちだろう？」と思ったら、次の見分け方を参考してみてください！

アシナガバチを見分けるポイント

- ・胴体は黒色っぽい。脚は黒色っぽいが多い。
- ・後脚をダラリと垂らし、フラフラと見す。スズメバチよりもスピードは遅い。
- ・巣は六角の巣穴が丸見えで、お椀のような形。グレー系の色。
- ・巣の場所、アシナガバチ同様の開放的な場所に建てて、土の中・屋根裏・床下、壁の中、木の洞など、隠れ家的な場所にも作る。



後脚を下げて飛ぶ

胴体と脚が黄色っぽい

スズメバチを見分けるポイント

- ・胴体はオレンジ色っぽい。脚は黒いタイプが多い。
- ・直線的かつ滑らかに飛ぶ。
- ・巣はマーブル模様で、丸い蜂房。穴にも重なっている。茶系の色。
- ・巣の場所、軒下や木の枝など、隠れ家的な場所。



胴体はオレンジ

スズメバチの巣より頑丈な、アシナガバチの巣

お椀を逆さまにしたような、薄（ハス）の葉のような形。色は灰色・グレー系。外から六角形の巣穴（ハニカム構造）が見え、むき出しになっている。樹皮と粗皮繊維を素材にして、唾液などのタンパク質を混ぜ合わせて作られます。スズメバチの巣と比べると、強度があり、つついたりする程度では壊れません。

目立たない場所に巣を作るため、発見が遅れることも多いです。また、巣を一度駆除しても、また同じ場所に再び巣を作られるケースもあります。

「アシナガバチっぽい蜂がいるんだけどー」と不安な方は、[こちらからご相談ください](#)。ハチ駆除のプロが、安全な対策をアドバイスいたします。



キイロスズメバチ 危険度★★★★★



オオスズメバチに次いで危険なハチ。

気性が荒く、刺された場合、死に至ることもある。
都市で増えている、刺傷被害が最も多いハチとされています。

体長17〜24mmほど。女王蜂は26mm前後。胴体全体に、黄色の濃毛が生える。営巣場所は多岐にわたる。

巣に近づく、とくに攻撃性が高くなるので注意が必要。
巣が引っ越し中の場合、何箇所も同じ場所に巣を作り直す。
営巣は、**屋根裏や床下などの暗湿りな空間**が多い。巣は大きなボール状になることもある。

営巣り蜂のハチがいる！スズメバチの巣

スズメバチの巣はたいてい出入り口がひとつです。材料は、木片や紙屑をかじったものを、泥で混ぜて**紙糊**にも
固めて作ります。形も、**ボールのような球体**、**フラスコ状**など数種類あります。色は**茶系**、マープル模様も特徴で
す。はじめは、女王蜂だけで巣を作り始めます。

完成した巣穴からは、**営巣り蜂のハチが常に外を監視**しています。
山登りなどの途中に巣をうっかりと刺激してしまい、被害に遭う例も少なくありません。



危険大！スズメバチ



- ・体は**オレンジ系**が多い
- ・巣は**丸い**（フラスコ型も）
- ・巣は**最大80センチ**

アシナガバチ



- ・体は**黄色系**の色が多い
- ・巣は**シャワーヘッド型**
- ・巣は**最大15センチ**ほど

ミツバチ



- ・体は**ずんぐり太め**
- ・巣は**板型**
- ・巣は**最大1メートル**

オオスズメバチ 危険度★★★★★



体長27〜40mmほど。女王蜂は45mm前後。

大個で噛む力が強い。刺された時の痛みや腫れは、ハチの中でも最も強い。
多数のハチに刺された場合、死に至ることもある。

巣は土の中に作ることが多い。餌をめぐって、多量のハチと戦う。攻撃性も非常に強く、7月〜11月には刺される
被害が多い。

攻撃時は、顎をカチカチ鳴らして針を何度も突き刺す。
飛行時のスピードは、最速で時速40キロ近くに達する。

間違った対応をするとハチに襲われる事も!!

正しい知識で「自分の身」を守ろう!!

スズメバチ



大きく、毒性も
攻撃性も高い。

アシナガバチ



おとなしいけど
毒は強力!

ミツバチ



大集団で生活する
から巣が
1番大きくなる。